

日本コンピュータセキュリティ インシデント対応チーム協議会

Nippon CSIRT Association



日本シーサート協議会とは

シーサート (CSIRT: Computer Security Incident Response Team) にはさまざまな種類があり、目的、立場 (組織内での位置づけ)、活動範囲、法的規制などの違いからそれぞれ独自で活動を行ってきました。

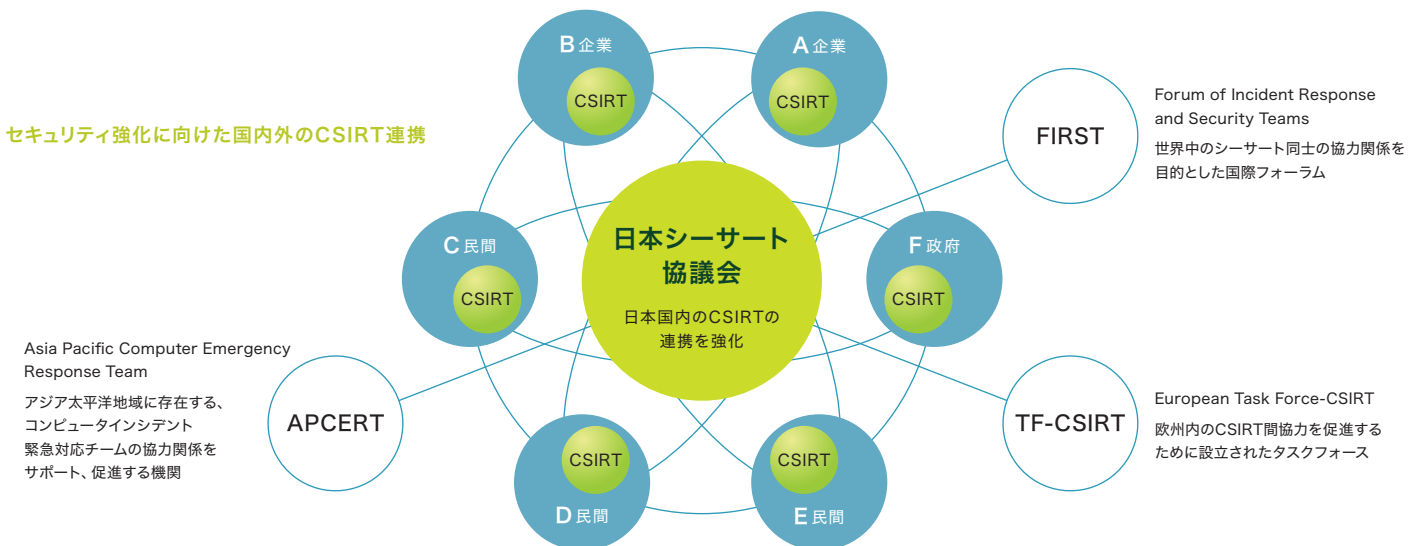
しかし、コンピュータセキュリティインシデントの攻撃がより巧妙かつ複雑になってきた現在、迅速な対応が、単独なシーサートでは困難な状況になっています。そこで、同じような状況や課題を持つシーサート同士が互いに協調し、共通の問題を解決する場として、日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会 (略称: 日本シーサート協議会) が設立されました。CSIRT間の密接な連携、そして強い信頼関係に基づいた迅速かつ適切な対応、情報共有を実施する体制作りを目指します。

シーサート (CSIRT) とは

シーサート (CSIRT: Computer Security Incident Response Team) とは、コンピュータセキュリティにかかるインシデントに対処するための組織の総称です。主な活動としては、インシデント関連情報・脆弱性情報・攻撃予兆情報の収集分析、対応方針や手順の策定などが挙げられます。

また、インシデント対応においてセンシティブな情報を扱う必要があることから、常日頃から他組織との信頼を醸成しておくことが求められます。そのため、国内はもとより海外の他組織と連携したり、情報交換を行うための窓口として機能することも、日本シーサート協議会の重要な役割です。

セキュリティ強化に向けた国内外のCSIRT連携



活動概要

新規にシーサートを構築する組織を支援する活動や、各種ワークショップの開催、およびコンピュータセキュリティに関する提言など、企業の健全なIT活動を支援するためのプログラムも行なう予定です。

ワーキンググループ

ワーキンググループとは、会員が共通して抱える課題を、会員同士が協力して解決するための組織のことです。会員は誰もがワーキンググループを発足したり、1つまたは複数のワーキンググループに参加することができます (活動中のワーキンググループの詳細は裏面を参照)。

組織概要

名称	日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会 (略称: 日本シーサート協議会) (英文名: Nippon CSIRT Association) (英文名略称: NCA エヌシーイー)
設立年月日	2007年3月28日発足
主な活動	・会員間の情報共有 (インシデント情報、対応手法、セキュリティ関連情報等の共有) ・ワーキンググループ活動 (社会的かつシーサート間に共通する課題の解決などを目指す) ・年次会合 (所要の報告及び意見交換等の場)

日本シーサート協議会のデザイン及びロゴ

2007年11月から正式運用した、日本シーサート協議会のWebサイト及び関係書類のテンプレートなどで使用されているデザイン及びロゴは、次のコンセプトで作成しました。
● 緊密な連携と強い信頼関係 ● ホスピタリティ (温かく迎える) ● 社会貢献 ● 親しみやすさ
特に「親しみやすさ」においては、シーサートの語感が浸透するよう、沖縄に昔から伝わる「守り神」シーサーをロゴにしました。